

第三回肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会 議事概要

1 日時 令和7年3月26日(水) 14:30-15:30

2 場所 鶴丸会館(出水市)

3 出席者

出席者名簿のとおり

4 会議の内容

(報告) (1) 肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会規約の改正について

(2) 第2回肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会幹事会について

(議事) 肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画素案について

【出された主な意見】

(出水市)

定期外利用者など1.5倍の増加を見込まれているが、その根拠は。

(事務局)

任意協議会で調査事業を行った際に、今後の収支シミュレーションを実施した。さまざまな営業努力などの取組の結果、148%程度増えると試算されたところ。

(出水市)

利用客を増やすにはさまざまなイベントを実施しなければならないと思うし、沿線自治体ももっと頑張れということかと思う。

(熊本県PTA連合会)

肥薩おれんじ鉄道を利用したことがない人向けへの乗り方教室の実施は良い考えだと思う。私が住んでいるのは鉄道のない地域。鉄道は時間が守られるという定時性を備えており、保護者は非常に助かる。鉄道に乗ったことがない子ども達も多く、乗り方教室等で体験できれば、自立して移動できるようになるのではないか。

県北は鉄道がなくなった地域。保護者視点からは絶対に鉄道を残してほしい。

先日のようにテレビ番組で取り上げられると関心が高まるし、鉄道に乗ってみようという機運醸成にもなる。

(鹿児島県社会福祉協議会)

計画では高齢者や障がい者等、弱者の利用を考慮しており、地域の人が使え
るということはとても良いこと。利用促進についてはしっかり協力していきたい。

(熊本県観光連盟)

T V番組で、沿線全体の特産品で作る駅弁の企画があったが、沿線全体を観
光地で売り出す良い案だったと思った。

また、各駅でハッピーを着た駅員さんに迎えられるのは非常に感じが良い。経
営の視点から見ると厳しい部分もあるかもしれないが、親切に笑顔で迎えてく
れるということは、観光の視点では必要。

(J R貨物)

鹿児島貨物ターミナル駅にて、九州運輸局との共催で鉄道コンテナ利用（モ
ーダルシフト）促進セミナーを開催、荷主や利用運送事業者へのPRを行っ
た。2024年問題については、はっきりとした影響は見えないが、今後徐々に表
れてくるのではないと思われる。

自然災害への弱さが問題となっているが、関係機関と協力して、BCP対策
をしっかり進めていきたい。

(J R九州)

シームレスな接続やダイヤの連携など、しっかりと協力していきたい。新幹
線や在来線の乗り継ぎなど、しっかり協力してまいりたい。

今後、施策の実施などについて、幹事会でモニタリングをされていくようだ
が、たくさんの関係者がどうやって進めていくか、今後も関係者が連携する必
要がある。

(鹿児島県バス協会)

バス協会としても関係者と足並みを揃えなければならないと強く感じる。住
民の皆さんに利用してもらわなければならない、どうしたら使ってもらえるの
か、住民の意識を変えないと厳しいと思う。

それぞれの地区に町内会などの小さなコミュニティがあるので、そういった
身近なところから取組を始めたらいいのではないかと。みんなで意識を変えて、
乗って継続させていきたい。

(熊本県タクシー協会)

タクシー業界も人手不足、担い手問題がある。中心地はドライバーが戻っているが、郡部は引き続き厳しい状況。ライドシェアなども視野に入れて、地元の人はどう使いやすくするか、しっかり考えていきたい。

観光面では、上熊本でグリーンスローモビリティの実証実験を行っており、実現されそうなところまできている。収支は赤字で厳しいようだが、毎日使われるお年寄りもいらっしゃる。新たなモビリティの可能性の検討も含め、合わせ技で取り組んでいくことが大事。

(八代市)

駅を核とした町づくりを積極的に進めたい。日奈久温泉駅は八代市にとって重要で貴重な観光地であり、なんとか盛り上げていきたい。

(大分大学 大井教授)

安易なバス転換は危険。今はバス転換も難しい。バス転換したところもほとんど残っていない。安易な議論ではなく、鉄道を残す方法に工夫が必要。

- ①定期外利用者の148%増は挑戦的な目標と感じている。特効薬はなく、いろんな知恵、小さな積み上げが必要。
- ②おれんじ鉄道を中心とした計画ではあるが、目的地までの接続など交通モードを横断的に考える必要がある。
- ③地域に人が残ってもらうためには高校まで通えるかが重要。まず親から率先して子供と一緒に乗って、子供のうちから乗ることに慣れておくと、高校生になってスムーズに鉄道を使うようになる。
- ④公共交通には安心・安全の確立は重要。

(肥薩おれんじ鉄道)

基本的な方針「地域の移動を支える」「地域の経済・産業振興を支える」「肥薩おれんじ鉄道が持続的に運行する」は、肥薩おれんじ鉄道設立時の基本理念と同じ。関係者の支えも必要だが、挑戦的な取組をしなければ生き残っていけない。